

■光受動部品標準化部会

概要

大容量伝送を実現するために、多種多様な光部品が開発され、数多く利用されている。このような状況のもとで、光部品の標準化は、関連技術の発展と光部品の効率的な利用拡大のためにますます重要度を増しており、本部会は、光部品に関するJIS案作成を中心とし、光部品の調査研究（標準化の為の候補把握や戦略検討）を行っている。

具体的な活動として、光受動部品の制定JIS案、及び改正JIS案の作成、光受動部品の試験法・測定法及びJIS性能標準に関する調査・検討、国際的な標準化の動向調査などを行っており、2025年（令和7）3月末時点で光受動部品について59件のJISが制定されている。

本部会では、以下3つのワーキンググループ（WG）を編成し、活動を行っている。

- WG1：JIS通則及びIEC総則の標準化検討
- WG2：試験・測定方法の標準化検討
- WG3：JIS個別規格及びIEC性能標準の検討

部会開催予定

（6回程度/年度　開催予定）

（順不同）

参加メンバ
独立行政法人日本学術振興会
IGSコンサルティング
沖電気工業株式会社
株式会社白山
上智大学
古河電気工業株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社フジクラ
東北学院大学
1 F I N I T Y 株式会社
N T T イノベーティブデバイス株式会社
経済産業省
一般財団法人日本規格協会
一般財団法人電気安全環境研究所